

令和元年 8 月 20 日
文化振興課

埋蔵文化財発掘調査中の事故について

1 概要

令和元年 7 月 5 日（金）15 時 45 分過ぎ、古町遺跡群第 12 次調査区において、発掘調査中に壁面が崩落し、作業中の男性 3 名（1 名は全身、2 名は下肢のみ）が生き埋めとなったもの。（1 人死亡、2 人軽傷）

2 調査概要

- ・調査区名：古町遺跡群第 1 2 次調査区
- ・調査場所：熊本市中央区呉服 2 丁目 24-1, 25-1, 26-1（詳細は裏面）
- ・概要：共同住宅の新築に伴う調査

3 原因等

詳細については調査中。

4 対応方針

○原因究明、安全対策の徹底に向け、①～④を対応中。

- ① 警察や労働基準監督署等関係機関の調査への協力
- ② 埋蔵文化財調査の中断
 - ・現場の安全衛生管理体制の見直しが進むまで、現在行っている、又は予定されている発掘調査（確認調査・試掘を含む）については中断する。
- ③ 再発防止に向けた事故検証の実施
 - ・事故再発防止への教訓を得ることを目的とし、第三者委員による「発掘調査事故に関する再発防止に向けた事故検証委員会」において事故の検証を行い、意見を聴取する。（検証委員会第 3 回終了）
- ④ 徹底した安全衛生管理体制の構築
 - ・上記の検証を踏まえ、これまでの文化庁や県教委作成の「発掘調査のてびき」に加え、市独自の安全衛生管理に特化したマニュアルを作成する。
 - ・作成したマニュアルを厳格に運用していく体制（点検体制を含む）を整える。

事故現場見取図

